

令和6年度重点目標の成果と課題

重点 点 目 標 1	重点目標	キャリア・未来デザイン教育の推進
		「小学校・幼稚園・中学校を通して探求的活動ができる」児童
	成果と課題 (1) ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の遊びを通しての「せたがや探究的な学び」を実現させ、小学校へ積み重ねていく。 ・児童が、社会の形成者として主体的に参画しようとする資質や能力を育成する主催者教育に取り組んでいく。 ・児童が自らのキャリアを形成するために、「キャリアパスポート」を有効活用していき、中学校へと繋げていく。
重点 点 目 標 2	重点目標	教育DXの推進
		「授業が分かる・楽しい」という児童
	成果と課題 (2) ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台の端末を生かしたICTの活用やノートコミュニケーション等を通して考える力・表現する力を育成する。 ・タブレット型パソコン等のICTを有効に活用し、情報の収集方法、調べ方、まとめ方、発表や話し合いの仕方など、探究型のプロセスを通じた主体的に学ぶ力を育成する。 ・家庭での学びを止めないために、課題等をICTのロイロノートを通し、児童に伝えていく。
重点 点 目 標 3	重点目標	多様な個性が活かされる教育の推進
		「多様な人格を尊重できる」児童
	成果と課題 (3) ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育を推進していく中で、人と関わる力を養い、苦しい時にも負けないたくましい児童を育成していく。 ・全ての児童が、多様な個性を（学級内では、男女）を認め尊重していく児童を指導していく。いく。いく。 ・いじめの未然防止を周知するために、小さな現象面から気づき、早期発見に努めていく。 ・いじめ校内委員会を迅速に開催し、瞬時に解決の方向へ図っていく。

重点 目 標 4	重点目標	地域社会と協働した教育の推進
		「地域の人材や地域教材を活用し、人と関わる」児童
	成果と課題(1) ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康」「地域との関わり」を全体テーマとし、食育・福祉・環境・地域や幼稚園交流等を通して、自ら課題を設定し、課題解決能力を育成していく。 ・学校支援コーディネーターとともに地域の人材や地域教材を活用し、人と関わる力を育成していく。
重点 目 標 5	重点目標	学校における働き方改革の推進
		「児童と向き合う時間の確保」
	成果と課題(2) ※学校の自己評価や 学校関係者評価等の 視点も含む	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表の簡略化を図り、作成時間短縮を図り教員の負担感を軽減していく。 ・月に一度、個人作業日を設定し、教材研究、児童との交流時間にあてる。 ・主幹教諭が中心になって、OJTの推進を図っていく。